

川越市アプローチカリキュラム

～幼保小 子どもの育ちと学びをつなぐ～



アプローチカリキュラムとは…

アプローチカリキュラムとは、幼稚園・認定こども園・保育園での子どもたちの育ちや学びを小学校につなぐために、作成する具体的なカリキュラムであり、5歳児の時期において、どのような育ちや学びがあるのかを、5領域を基に具体的に整理しています。

本資料では、1月から3月の姿を示していますが、5歳児の1年間とその前後も含め子どもの育ちや学びを捉えましょう。

そして、小学校入学に向けて、言葉による伝え合いや、協同するあそびなどの学びを高めていくことが大切です。

アプローチカリキュラムを各園で作成する際には、小学校での接続を見通すため、「川越市架け橋期のカリキュラム例」も活用しましょう。

【アプローチカリキュラムを作成する際の配慮や工夫】

時間の工夫	保育の工夫	人間関係の配慮	家庭との連携	きまりへの適応と安全への配慮	小学校生活に向けての配慮
○修了近い時期には、小学校での生活に配慮し、学級全員で活動することを意識的に取り入れるようにします。 ○登降園時の活動や当番活動、昼食の準備・片づけなど一日の生活の流れが分かって、自分から進んで行動できるようにします。	○友達と目的を共有し役割を分担して一緒に遊ぶ中で、充実感や達成感を味わい、意欲的に生活できるようにします。 ○自然の素材や自然現象などを遊びに取り入れ、自然の不思議さを十分に体験できるようにします。 ○友達と一緒に遊ぶ中で、考えたり試したり工夫したりする経験が十分できるようにします。○友達と互いに表現し合いながら、歌や動き、描画、言葉など様々な表現のおもしろさを感じることができるようにします。	○友達と共に生活する中で、互いのよさを分かり合い、信頼関係を十分に築くようにします。 ○小学生とかかわる中で、あこがれの気持ちを育てるようにします。 ○行事などをとおして、年少児や地域の人々とかかわる機会を設け、いろいろな人に親しみをもてるようにします。	○基本的な生活習慣を身に付け自分でできるように、家庭と連携をとり、子どもの育ちを確かめます。 ○保護者会や個人面談などを行い、保護者に小学校入学までの生活の見通しを伝えます。保護者の不安に対しては、小学校と連絡を取り合って対応できるように園所の体制を整えます。	○友達と共に気持ちよく過ごすためにはルールが必要なことがわかり、守ろうとする気持ちを育みます。 ○友達と共に生活する中で、自分の気持ちを伝えたり、時には折り合いを付け自分の気持ちを調整したりすることを経験できるようにします。 ○お別れ遠足では、交通ルールを守って行動することや公共の場での行動の仕方などを知らせます。	○小学生と交流することをおして、あこがれの気持ちを抱き、小学校生活に期待をもてるようにします。 ○学校見学や学校体験をおして、小学校の施設や生活の様子を知り、入学への期待と自覚をもてるようにします。 ○幼児期における指導の経過を要録にまとめ、小学校へと引き継ぎます。子育ての目安「3つのめばえ」を活用し、子どもの育ちを確かめます。

川越市アプローチカリキュラム例（公立保育園をベースにしています）

	5 領域	保育の視点	1 月	2 月	3 月	小学 1 年
こどもが安心して成長できる保育・幼児教育 受容的な姿勢・環境	健康	みんなと一緒に楽しく食べる 調理活動を楽しむ 体をつくる食事の大切さを知る 体を思いきり動かす 健康・安全な生活に必要な習慣を身に付ける 交通ルールを守り、散歩や園外保育をみんなで楽しむ 物を大切にし、自分のことは自分でする	給食（毎日） 散歩・園外保育（適時）	三色栄養群・カレー作り 散歩・集団遊び・鬼ごっこ等（毎日） 体調の気づき・見通しをもった行動（毎日）	避難訓練（月1回）	生きる力 知識及び技能 思考力・判断力・表現力 学びに向かう力・人間性
	人間関係	小さい子に思いやりを持ち、やさしく関わる 自分の思いや考えを伝え、相手の話を聞く ルールを守り、友だちと協力し合い活動する 主体的な活動を楽しみ、やり遂げた達成感をみんなと喜び合い、自己肯定感を持つ 小学校入学にむけて期待をもつ	制作 小学校見学・小学校との交流等	お手伝い・小さい先生・異年齢活動等（毎日） 生活発表・グループ作り・話し合い等（毎日） 当番・行事にむけての取り組み・当番引継ぎ等（毎日） 誕生会の司会（月1回）	お別れ会・卒園式等	
	環境	数量・図形・曜日・時間等関心をもって生活をする 行事を通して伝統文化を知る 自然や動植物を身近に感じ、関心を持つ 色々な活動を通して体の使い方を体験する	年中行事	プラネタリウム 虫とり（適宜） こま回し・まりつき・縄跳び・民舞・太鼓等（毎日）	いちご狩り	
	言語	先生や友だちの話を聞いて理解する 自分の経験したことや考えをみんなに伝える みんなの前で発表する 伝承遊びを楽しむ 生活や絵本を通して文字や数量に関心を持つ	かるた・すごろく等（適時）	朝の会・話し合い等（毎日） トランプ・あつまれ遊び・当番カード等（適時）		
	表現	友だちと話し合いをしながらイメージを共有し、劇あそびを楽しむ 友だちと一緒に物語をイメージしながら歌うことを楽しむ 歌や音楽に合わせて楽しく、しなやかに体を動かす 楽しかった経験やお話の絵をイメージ豊かに描く 指先を使い細かな制作を最後まで仕上げる	風づくり	森は生きている・エルマーの冒険等（週3回程度） わらべうた・集団リズム・民舞・太鼓等（週3回程度） マーカー・絵の具等 鬼の面・おひなさま	雑巾縫い・卒園制作	

川越市アプローチカリキュラム例を活用する際の留意点

	5 領域	保育の視点	1月	2月	3月	小学 1年
こどもが安心して成長できる保育・幼児教育 受容的な姿勢・環境	健康	みんなと一緒に楽しく食べる 調理活動を楽しむ 体を思いきり動かす 健康・安全な生活習慣を身に付ける 交通ルールを守り、物を大切に使う	給食 散歩	【3ヶ月間だけでなく】 本資料では、1月から3月の姿を示していますが、5歳児の1年間とその前後も含め子どもの育ちや学びを見通す意識をもつことが大切です。 架け橋期（5歳児から小学1年）の2年間で、育ちと学びの接続期として見通しをもってゆるやかに捉えるようにしましょう。		生きる力 知識及び技能 思考力・判断力・表現力 学びに向かう力・人間性
	人間関係	小さい子に思いやりをもち、自分の思いや考えを伝え、ルールを守り、主体的な活動を楽しむ 喜び合い、自己肯定感を高める 小学校入学にむけての準備	制作 小学校見学・小学校との交流等			
	環境	数量・図形・曜日の行事を通して伝わる自然や動植物の様々な活動を通して学ぶ	年中行事 虫とり（適宜） こま回し・まりつき・縄跳び・民舞・太鼓等（毎日）	ブラネタリウム 誕生会の司会 （月1回）	いちご狩り	
	言語	先生や友だちの話を聞き、自分の経験したことをみんなの前で発表し、伝承遊びを楽しむ 生活や絵本を通して学ぶ	朝の会・話し合い等（毎日） かるた・すごろく等（適時） トランプ・あつまれ遊び・当番カード	【『生きる力』へ】 児童期（小学校段階）での資質・能力の育成につながっていくことを意識しましょう。		
	表現	友だちと話し合い、そびを楽しむ 友だちと一緒に楽しむ 歌や音楽に合わせて、楽しかった経験やお話の絵をイメージ豊かに描く 指先を使い細かな制作を最後まで仕上げる	劇あそび 森は生きている・エルマーの冒険等 わらべうた・集団リズム・民舞・太鼓等（週1回） 風づくり マーカ―・絵の具等 鬼の面・おひなさま			

【遊びをととしての総合的な指導】

幼児教育では、幼児の自発的な活動としての遊びをととしての総合的な指導を行うことが大切である。

【虫とり】はあくまで一例であり。園の実態に応じた様々な「遊び」をととしての総合的な活動が考えられます。ここで示したその他の活動もあくまで例ですので、この活動をやらなければならないという意味ではありません。

各園の実態に応じて適切に活動を位置付けて、小学校入学への見通しをもって子どもたちを育みましょう。

★活動内容を園の実態に応じて編集してください。

【編集について】

下のページを園の実態に応じて編集して活用してください。↓

〇〇幼稚園・〇〇保育園・〇〇認定こども園 アプローチカリキュラム

	5 領域	保育の視点	1 月	2 月	3 月	小学 1 年
こどもが安心して成長できる保育・幼児教育 受容的な姿勢・環境	健康	みんなと一緒に楽しく食べる 調理活動を楽しむ 体をつくる食事の大切さを知る 体を思いきり動かす 健康・安全な生活に必要な習慣を身に付ける 交通ルールを守り、散歩や園外保育をみんなで楽しむ 物を大切にし、自分のことは自分でする	給食（毎日） 散歩・園外保育（適時）	三色栄養群・カレー作り 散歩・集団遊び・鬼ごっこ等（毎日） 体調の気づき・見通しをもった行動（毎日）	避難訓練（月1回）	生きる力 知識及び技能 思考力・判断力・表現力 学びに向かう力・人間性
	人間関係	小さい子に思いやりを持ち、やさしく関わる 自分の思いや考えを伝え、相手の話を聞く ルールを守り、友だちと協力し合い活動する 主体的な活動を楽しみ、やり遂げた達成感をみんなと喜び合い、自己肯定感を持つ 小学校入学にむけて期待をもつ	制作 小学校見学・小学校との交流等	お手伝い・小さい先生・異年齢活動等（毎日） 生活発表・グループ作り・話し合い等（毎日） 当番・行事にむけての取り組み・当番引継ぎ等（毎日） 誕生会の司会（月1回）	お別れ会・卒園式等	
	環境	数量・図形・曜日・時間等関心をもって生活をする 行事を通して伝統文化を知る 自然や動植物を身近に感じ、関心を持つ 色々な活動を通して体の使い方を体験する	年中行事	プラネタリウム 虫とり（適宜） こま回し・まりつき・縄跳び・民舞・太鼓等（毎日）	いちご狩り	
	言語	先生や友だちの話を聞いて理解する 自分の経験したことや考えをみんなに伝える みんなの前で発表する 伝承遊びを楽しむ 生活や絵本を通して文字や数量に関心を持つ	かるた・すごろく等（適時）	朝の会・話し合い等（毎日） トランプ・あつまれ遊び・当番カード等（適時）		
	表現	友だちと話し合いをしながらイメージを共有し、劇あそびを楽しむ 友だちと一緒に物語をイメージしながら歌うことを楽しむ 歌や音楽に合わせて楽しく、しなやかに体を動かす 楽しかった経験やお話の絵をイメージ豊かに描く 指先を使い細かな制作を最後まで仕上げる	凧づくり	森は生きている・エルマーの冒険等（週3回程度） わらべうた・集団リズム・民舞・太鼓等（週3回程度） マーカー・絵の具等 鬼の面・おひなさま	雑巾縫い・卒園制作	